

決算審査特別委員会会議記録（第2号）
（本庁第3班）

令和6年10月18日

福島県議会

1 日時

令和6年10月18日（金曜）

午前 9時57分 開議

午前 11時10分 散会

2 場所

商労文教委員会室

3 会議に付した事件

知事提出継続審査議案第24号 決算の認定について

4 出席委員

副委員長	高 宮 光 敏	委 員	橋 本 徹
委 員	佐 藤 義 憲	委 員	水 野 さちこ
委 員	佐々木 恵 寿	委 員	渡 部 英 明
委 員	安 田 成 一		

5 議事の経過概要

（午前 9時57分 開議）

高宮光敏副委員長

ただいま出席委員が定足数に達しているので、これより本日の会議を開く。

初めに、第1班及び第2班の審査において提出を求めた資料について、各委員の御手元に配付しているので確認願う。

これより保健福祉部の審査に入る。

直ちに、保健福祉部長の説明を求める。

保健福祉部長

（別紙「令和6年度（令和5年度普通会計分）決算審査特別委員会保健福祉部長説明要旨」により説明）

高宮光敏副委員長

続いて、こども未来局長の説明を求める。

こども未来局長

(別紙「令和6年度(令和5年度普通会計)決算審査特別委員会こども未来局長説明要旨」により説明)

高宮光敏副委員長

続いて、保健福祉総務課長の説明を求める。

保健福祉総務課長

(調査資料ほか説明)

高宮光敏副委員長

続いて、社会福祉課長の説明を求める。

社会福祉課長

(調査資料ほか説明)

高宮光敏副委員長

続いて、健康づくり推進課長の説明を求める。

健康づくり推進課長

(調査資料ほか説明)

高宮光敏副委員長

続いて、こども・青少年政策課長の説明を求める。

こども・青少年政策課長

(調査資料ほか説明)

高宮光敏副委員長

以上で説明が終わったので質疑に入る。

質疑のある方は発言願う。

安田成一委員

調査資料50ページからの税外収入の収入未済額及び不納欠損額調について、債権回収のため今年度新たに工夫した点があれば聞く。

児童家庭課長

未収金については、通常文書による催告のほか、電話や訪問等により債権回収を行っている。新規の取組はなかったが、今年度も引き続き催告、督促や戸別訪問に

より徴収率向上を図り、徴収に努めていく。

なお、児童福祉施設入所費負担金については、児童の権利を守るため親の意向に反して入所させる場合もあるため徴収がなかなか難しいが、引き続き適切に徴収していく。

安田成一委員

相手がいるため難しい部分もあると思うが、時効も含めて今後の見通しを聞く。

児童家庭課長

収入未済については、先ほど述べたとおり督促や戸別訪問等を行った結果を踏まえ、借受人、連帯借受人や連帯保証人などの弁済能力を確認し、時効が成立し回収が困難なものについては不納欠損処理をしていきたい。

安田成一委員

予算執行説明資料190ページの少子化対策推進費、結婚・子育て応援事業について、出会いの場の創出、婚活セミナーやイベント等により実際にカップルが成立し、成婚に結びついた件数を聞く。

こども・青少年政策課長

結婚・子育て応援事業は、ふくしま結婚・子育て応援センターと協力しながら実施している事業であり、大きく3つの取組がある。1つ目は「世話やき人」の取組であり、引き合わせ件数は239件、うち成婚数は24組であった。2つ目はマッチングシステム「はび福なび」の取組であり、令和5年度のお見合い成立件数が1,615件、うち成婚数は8組である。3つ目は市町村との合同婚活イベントの実施であり、成婚までの追跡はなかなか困難であるが、昨年度は6市町村と合同でイベントを開催し、定員以上の申込みを受けるなど非常に好調であった。合計で男性106名、女性102名が参加し、マッチング結果は48組であった。

安田成一委員

各事業における成立組数について、県では効果をどのように受け止めているのか。

こども・青少年政策課長

件数による評価が難しい事業ではあるが、こうした取組をより一層充実させ、今後とも多様な出会いの機会を可能な限り創出していきたいと考えている。これまで個人を対象とした出会いの機会創出を重点的に実施してきたが、ターゲットには就労者が多いため、企業や団体などから後押しすればマッチング率が高まると考え、

新年度では新たに企業や団体と連携して取り組んでいる。

安田成一委員

カップルになるなど縁があって結びついた人々について、「このように幸せな家庭を築いています」などと広報誌等で紹介できれば、取組がさらに広がっていくと思うが、その辺りの考えがあれば聞く。

こども・青少年政策課長

事業の取組を活用し積極的にPRを推進すべきとの意見かと思うが、プライベートに関わるため個人の了承を得ることが大前提であり、了承が得られるカップルがいれば積極的な活用を考えたい。

また、先ほど今年度の事業として企業等と連携した取組について述べたが、「企業がこのように取り組み社員のウェルビーイングが高まった」などの部分を取りまとめ広報する計画があり、そういった点も含めて個人情報に配慮しながら県政広報等で積極的に周知していきたい。

高宮光敏副委員長

ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

高宮光敏副委員長

なければ、以上で保健福祉部の審査を終わる。

以上で、本日の会議を終わる。

なお、10月23日からは出先機関審査を行うので、よろしく願う。

これをもって散会する。

(午前 11時10分 散会)